

平成26年10月定例教育委員会会議録

平成26年度塩尻市教育委員会10月定例教育委員会が、平成26年10月23日、午後1時15分、塩尻総合文化センター302多目的室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 11月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について
報告第4号 市内での熊出没への対応について

4 議 事

- 議事第1号 市立学校職員に対する指導上の措置について<非公開>

5 その他

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	小 澤 嘉 和	職務代理者	渡 辺 庸 子
委員	小 島 佳 子	委員	石 井 實
教育長	山 田 富 康		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	保 科 隆 保	こども教育部次長 (教育総務課長)	小 林 克 則
こども課長	羽 多 野 繁 春	家庭支援室長	百 瀬 公 章
生涯学習部長	岩 垂 俊 彦	生涯学習部次長 (スポーツ振興課長)	青 木 実
平出博物館館長	小 林 康 男	男女共同参画・人権 課長	寺 澤 好 則
市民交流センター長 (図書館長)	伊 東 直 登	市民交流センター次 長 (交流支援課長)	小 松 秀 樹
子育て支援センター 所長	掛 川 佳 子		

○ 事務局出席者

教育企画係長	米 窪 昌 紀
--------	---------

1 開会

小澤委員長 少々時間はありますけれどもおそろいようですので、ただいまから10月の定例教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願ひします。初めに小松課長さん、御挨拶をお願ひします。

小松市民交流センター次長（交流支援課長） 冒頭失礼いたします。10月1日の人事異動におきまして、市民交流センター次長兼交流支援課長として選挙管理委員会事務局長より異動してまいりました。小松秀樹と申します。よろしくお願ひいたします。

小澤委員長 お世話になります。

小松市民交流センター次長（交流支援課長） ありがとうございます。

小澤委員長 よろしくお願ひいたします。

それでは、初めに私のほうからお願ひいたします。過日、大勢の会葬者のもとに百瀬課長さんの御葬儀がしめやかに行われました。参会された皆様誰しもが信じられない、そんな雰囲気がありました。本日の会議でもいつものように私の正面に、あの人なつつこい笑顔で座っているように思えます。御本人も、まさかこんなことになるとは夢にも思っていなかったであろうと思います。志半ばの悔しい思いもしのべれます。私たちは、こんな元課長さんの思いに思いをはせるとき、課長さんの担当でありました生涯学習の内容をさらに一層充実発展させていかねばならないと、そんな思いであります。私たちの思いとか、あるいは心づもりを込めながら、課長様の御冥福をお祈りしたいと思います。

本日、報告案件の追加があります。次第が変更されておりますので、よろしくお願ひいたします。

2 前回会議録の承認について

小澤委員長 では、次第に従いまして2番、前回会議録の承認について、事務局からお願ひいたします。

米窪教育企画係長 前回9月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願ひいたします。

小澤委員長 よろしいでしょうか。そのようにお願ひいたします。

3 教育長報告

小澤委員長 3番、教育長報告に入ります。教育長のほうからよろしくお願ひします。

山田教育長 いよいよ秋も大分深まってまいりました。北国からも、それから高い山からも冠雪の便りが聞かれるようになりましたし、ここから見る景色も随分紅葉が進んで来たなど、そのように思います。

それでは、今回は今週をもって全て終了いたしました学校訪問を通して思うことと、塩尻短歌館、自然博物館の企画展についての2点に絞って報告をさせていただきます。全国短歌フォーラムなど主要な行事も含め、委員の皆様方の、参加されての御意見につきましては、後ほど聞かせていただければありがたいと思います。

初めに学校訪問について報告いたします。今年度の学校訪問は、今週の桔梗小、それから昨日の両小野中学校をもって全行程終了いたしました。今回、私は児童生徒の学習活動が、生きる力に直結する意欲を持って主体的に学び続けるものとなっているのだろうか。また、元気っ子応援事業の基本理念にもつながる、どの子ども十分に理解され、その子のニーズに応じたきめ細かな学習指導が行われているのだろうか。この2点に視点を重点的に絞って教室訪問をしてまいりました。それは、

市内のどの学校のどの教室においても一人一人の児童生徒が等しく、その子なりに自立に向けた成長が保障される指導、支援を受けられるということ、また、そのために全ての教職員が等しく指導、支援できる教師力を備えてほしいという強い願いから来るものであります。各校の実践の中には、もちろんすばらしいものが幾つもありました。また、確かに成果に結びついてきているなあと思われるものも多く見られました。また、児童生徒のほとんどは、落ちついた雰囲気の中で熱心に学習に向かっていました。しかしながら、市内全体の共通の課題として上げられる状況も確かにあるのではないかと思われたことも事実であります。初めに児童生徒が主体となって学ぶ授業づくりについては、教師が主導し、それに児童生徒がついていくという、言ってみれば旧来的な授業がまだまだ多く、児童生徒主体の学習への意識改革が進んでいない面もあるなあと思ったこと。

2つ目は、各校の児童生徒主体の授業への改善に向けたさまざまな具体的な手だてを年度当初持っているわけでありましてけれども、それが全教職員の共通のものとして、どこの教室へ行っても十分授業実績に結びついているかということ、そうでない面もあるということ。それから、児童生徒個々の学びを点ではなくて線として捉え、適時適切な評価等、指導支援で主体的な学びを支え、サポートするためのきめ細かな指導となっていない面もまだある、そのようなことから思ったことであります。また、個別の教育的ニーズに対する細やかな支援については、個別の教育的ニーズそのものが、児童生徒を深く理解するところから捉えられると考えられますけれども、授業の各場面で確かな目で教職員が児童生徒を観察し、それを記録したり、その授業の中で生かしたりしている姿がまだまだ少ないなあと思ったことです。

また、中学校では、個別の教育的ニーズに対する指導計画を立て、各教科担任など関係職員全てが具体的な支援方法を共有して、細やかな指導実践に結びつけることが必要であるということを繰り返しお願いしてきているわけでありましてけれども、まだ進んでいない面も見られるということ。また、学習のユニバーサルデザイン化が叫ばれる中、通常学級の授業の中で学習内容の習熟が進んでいない児童生徒への個別の配慮と支援が進んでいない面が見られることなどであります。これらの課題につきましては、各校での学校訪問のまとめの挨拶の中で、先生方にお話をして改善をお願いしてきているところでありますし、また、校長会を通して課題の解決方向も含めて校長先生方にお伝えし、校長先生方の職員指導力によって各学校で学習指導や生徒指導に生かし、そして本当の意味で子供たちの生きる力、学力を伸ばしていきたいなあ強く願っているところであります。

次に、博物館に足を運んでいただくことを何とか進めていきたいなあという思いでありますけれども、塩尻短歌館と自然博物館の企画展について報告をさせていただきます。先日機会を得て短歌館の「近代短歌の巨匠 島木赤彦 アララギの世界」と自然博物館の企画展「日本の美しい虫・珍しい虫標本展」に足を運んで鑑賞をさせていただきました。短歌館の企画展では寂寥相と言うらしいんですけども、島木赤彦の自然と人間が一体となった歌づくりの境地が導き出されたのが、広丘小学校の校長時代と言われております。その時代から短歌の理想の境地として生涯をかけて切り開いたアララギの世界を構築するまでが、本当に貴重な作品を通して浮き彫りにされておりました。青柳指導員の説明を受けながら見させてもらいましたが、島木赤彦という人物が本当に浮かび上がり、私たちの生き方を考えさせてくれるような、そんな展示になっておりました。

また、自然博物館の企画展では、美しい羽の色を持ったマイマイカブリ、オサムシ、ハンミョウ、センチコガネなどが、日本の各地によって、またそれぞれの個体によって、その輝く羽の色を変える、その不思議さやその美しさに私も魅了されました。心を引かれる展示になっているなあというように思いました。いずれも短歌愛好家や昆虫愛好家にとっては関心の高い企画展であるとは思いますが、しかし、そうした方々だけにとどめておいたのでは本当にもったいないなあ、そんな気がいたしました。文化の裾野を広く耕す、深く耕すために島木赤彦展については、さらに文

芸愛好家や書道愛好家、また教育関係者や地域文化に関心を持つ方々にもぜひ触れてほしいなあと思いましたが、昆虫展は、自然科学とか自然環境とか、環境保全に関心のある方々、またとりわけ児童生徒にはぜひ見させたいなあ、触れさせたいなあ、そんな展示だと思いました。両企画展については現在開催中ですが、まだ期間がありますので、できるところはさらに鑑賞の呼びかけを行ってほしいなと思っております。またあわせて11月5日をもって還暦を迎える平出博物館の紹介についても、作成しております記念誌なども通して進めて、その活用を十分図ってまいりたいなあ、そのように思っているところであります。今回は、この2点について絞って報告をさせていただきます。以上です。

小澤委員長 ありがとうございます。この際です、御質問、あるいは補足等々ございましたらお願いします。

石井委員 私、全部の学校を見られたわけじゃないですけども、なんか子供たちにいろいろな面で健康的に問題がある子供が、各学校二、三人ずつは必ずいるようなことを感じてきております。昔はそんなことはなかったのではないかと。当時、あんな生活をしていても、学校で健康的に一緒にいていけないというようなことはなかったのではないかと。近代社会になってます。いろいろな病気とか、アレルギーとか、そういう問題で非常に手がかかっているというふうに感じたわけです。ああいう子供さんたちのケアに大変市費をつぎ込んで手厚くやっているかなというふうに感じたわけです。そんなことが私の見せてもらった中では感じをしました。そこら辺が1つの課題で、もっと体力の向上ということについて保育園から、あるいは生れたときから考えていく必要があるのではないかなあなんてことを感じたわけです。

小澤委員長 ありがとうございます。振興基本計画の中でも、そのことが行間に今回は出されております。協議会の中で、また御意見をお願いします。

学校訪問の件であります。教育長さんが御都合で出られない場合には、私がかかわって職員との懇談の席に出たわけでありまして。懇談会は、最初に各学校からの要望、それから県からのいわゆる指導、それから市教委の連絡と、こういう3つのセクションに分れてやるわけでありまして。学校からの要望というのは大体決まってるというのか、各学校同じなわけでありましてけれども、加配をもう少し手厚くしてくれということ、あるいは書類管理、指導要録に記載する内容をもう少しわかりやすく示してほしいとか、あるいは学力向上で授業課のほうでデータを流してくれるんだけど、それが各学校でももう少し効率的に活用できるような手だてを講じてほしいとか、そんなことが出されております。質疑応答が終わった後、県のほうからは、これも大体決まっております。14校、大体決まった内容を話すわけです。1つ目は残業時間をもっと減らすこと。その具体的な行動を各学校、各個人はとってくださいというお願い。それから、少子化社会を控えて新たな学校づくりに向けた体制づくりをしてほしいということ。3つは非違行為撲滅、交通事故防止ということ。それが主な内容でありまして、命を守る環境づくりに励んでほしい。これで締めくくられるわけでありまして、市からは、先ほどの教育長さんと同様に、授業改善を主に訴えます。そこへ例えば高額な予算を使うIT機器、視聴覚機器だとか、あるいは備品等々がまだまだ十分に活用されてない様子がみられることから心してほしいということ、あるいは、特色ある活動においては、今まで我慢していたから、この際買おうっていうような姿勢は控えてほしいこと、その学校ならではの事業を創造してほしい。また、学力実態調査の公表があるわけでありまして、文言はともかくとして、具体的に目に見える形での授業改善のアクションを起こすことというようなことを話しました。さらには、大きな特色であります元気っ子応援事業については、育ちの記録、これをいつも見て、その時々の子の育ちの足跡を記入して記録として残し、それを上へ上げていく。そして、時に応じて、親に伝えるような場面を設けてほしいと、そんなことを話しております。

よろしいですか。それでは、次にまいります。

○報告第1号 主な行事等報告について

小澤委員長 報告第1号、主な行事等の報告であります。資料の1ページから6ページ。委員の皆さん、参加された中でお感じになった点をお寄せください。お願いします。

小島委員 こちらには載っておりませんが、私、10月3日のレザンホールの劇団四季の「こころの劇場」を拝見させていただきまして、独身時代ニューヨークのブロードウェイで見て以来、何十年ぶりにミュージカルを見てまいりました。大変すばらしい歌と踊りで、私が見てもあれだけ感動したのですから、小学校6年生の児童さんたちはどれだけ感動したか。何て言っていいいんでしょう、子供達の心の中に、何か1つ小さな種はまけたのではないかって、そんなぐらいの感動がありました。とてもよかったですと思います。それで、どこの市でもやってるかと思いましたが、長野県内でも5市のみでありまして、ぜひとも塩尻市ではこのまま続けていただきたいと思いました。以上です。

小澤委員長 短歌フォーラムについて、お話しさせていただきたいと思います。反省の上に立って新たな活動もあったわけでありますけれども、時間が相当延びてしまいました。これは残念だったなあと思います。私の近くにいた遠方から来たお年寄りの方々、早く帰りたいねっていうようなことをつぶやいておられました。申しわけない思いであったわけであります。3つのセクションに分れたと思うんです。選評とそれから表彰、それからトーク、そして音楽劇と、あの時間の中に3つを入れ込むっていうのは厳しいかなと思いました。この3つを、2つのフォーラム、一般と学生があるわけでありますけど、来年に向けて構成し直す必要があるかなと、こんなことも思います。また、市内での関心というか、市民の参加が少ないということを上上げたわけでありますけれども、今回は多かった。市民の音楽劇があったことによるものだと思います。なお、詩吟を入れてくださったわけでありますけれども、吟じたものは、短歌フォーラムとはちょっと関係なかったわけです。ですから、もし来年、詩吟の方がやってくたさるとしたら、短歌フォーラムの作品を吟じてくだされば、なお詩吟と短歌フォーラムが密接な関係になると、こんなことを思いました。フォーラムに関しては、以上であります。

たくさんイベントをやってくたさっているわけでありますけれども、参加できなくて、あるいは参観できなくて済みません。

渡辺職務代理者 短歌フォーラムの、3部構成でしたよね、たしかね。それで、一番最後のほうは、切り離せないかなっていうような気がします。非常に長いんですよ、3つの内容を盛り込むってことは。本当に子供たち頑張って、先生たちも頑張って作り上げたものですので短歌フォーラムと切り離れた形で上演できないかと。もうちょっとコンパクトにするか、ほかの機会に第3部を上演するかという形で考えたほうがいいのかあっていうような気がしました。以上です。

小澤委員長 ありがとうございます。

岩垂生涯学習部長 今、御指摘がございましたように今年度、新たに音楽劇という形で初めての試みをさせていただきました。全体もちょっと時間が延びてたんですけど、まだ延びてしまったという御意見いただきましたので、これから反省会等がございますので、その中で検討させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

小澤委員長 よろしく願いいたします。

石井委員 今、小島委員のほうから劇団四季についてお話があったわけですが、あれはどういうルートで入って来ているのかなということ。教育委員会で押せば、ああいうことができるのか、どこか違うルートで来ているのか、レザンのルートで来ているのかということなんですけども、そこら辺は。

小澤委員長 御説明をお願いします。

岩垂生涯学習部長 私もちよっと細かいところまでは聞いてないですが、前聞いたところによりますと、今レザンにいる職員のつながりの中で、毎年お願いしていると。大体県下でやるところは決まってしまうものですから、それで新しいところは、いけなくてですね、今までのつながりの中で、職員のつながりもございまして来ていただいているというふうにお聞きしております。

石井委員 かなり予算もかかっていると思うんですけども、そこら辺、ただ職員だけのつながりでやって切れちゃうんじゃないかと、やっぱしバックアップを塩尻市とあるいは教育委員会と、ということでもってやっていかないと、もしかして途切れちゃったなんてことにならないようお願いしたいと思います。

岩垂生涯学習部長 はい。

小澤委員長 それでは、よろしいでしょうか。

○報告第2号 11月の行事予定等について

小澤委員長 11月の行事予定へ移ります。資料の7ページでございます。見ていただいて、11月1日から3日までは市の文化祭。7日に小学校の合同音楽会。17日には、こんにちは教育委員会が塩尻中学校であります。定例教育委員会は27日。それから、11月25日、26日両日は、両小野の組合教育委員会と合同で視察研修が予定されております。文化祭等の御案内がきょう配付されておりますので、事務局からお願いいたします。

岩垂生涯学習部長 お手元に配付させていただいておりますけれども、市民文化祭の御案内の通知とあと3枚もののカラーの文書でございます。11月1日から3日まで市民文化祭。同時開催という形で11月1日に市民音楽祭、それから11月9日になりますが増村紀一郎さんの講演会という、3つ御案内させていただきましたけれども、お忙しい中でございますが、教育委員会の皆様御出席いただきますよう、よろしく申し上げます。

○報告第3号 後援・共催について

小澤委員長 それでは、報告第3号、後援・共催についてであります。資料の8ページから11ページ。御意見等ございましたら、お願いします。よろしいでしょうか。
ありがとうございます。次に進みたいと思います。

○報告第4号 市内での熊出没への対応について

小澤委員長 報告第4号、熊出没についてであります。プリントでございます、資料の5です。事務局から御説明をお願いいたします。

小林子ども教育部次長（教育総務課長） 本日配付の資料で、資料No. 5の報告第4号ということで、市内での熊出没への対応についてということで、御説明させていただきます。

まず1番、趣旨といたしましてですが、今年度、非常に、例年に比較しまして、ツキノワグマの目撃情報等が多く入っております。特に10月になってからの目撃件数は、これは昨日までの件数ですが28件ということになっておりまして、一昨日21日には広丘小学校西方、広丘西保育園のすぐ近所のところですが、女性の方が熊に襲われ負傷したというような形の中で、非常に憂慮する事態になっております。現状の、この熊への対応の経過、それから今後、児童生徒の安全確保のために図る取り組みについてですね、御報告をさせていただくものでございます。

まず、2番の時系列の経過を表に組み合わせさせていただきました。個別に学校で、例えば学校単位です、独自にメールを出しているところとか、あるいは紙で、プリント等でですね、注意

喚起してる分があるかと思えます。ちょっとその分は把握を全てできておりませんので、こちらで把握できるもののみという形になりますけれども。先月の末からですね、目撃情報が多くなっております。当初のうちは、洗馬付近が結構多くてですね、洗馬小その後にあります西部中、それから宗賀小、そこら辺のところで主に対応していただいております。9月30日につきましては夜でしたけど、9時過ぎくらいでしたか、農林課のほうから私のほうに連絡がありまして、元町地籍のほうで帰宅途中の人の軽トラックが熊をはねちゃったということで、熊は逃げてったという話の中で、危ないかもしれないからということで話がありまして、翌朝の通学のために夜メールを出していただいたというような事案でございます。そのような事案が結構ありまして、10月に至ってはほぼ毎週2回くらいのペースで、各学校で注意喚起をしているという形になります。

基本的には緊急メールやお知らせ通知で保護者への注意喚起をして、通学時に安全に配慮をしていただきたいという言い方で、学校は、お願いをしているところでございます。車での送迎、集団での登校、もしくは大人の付き添い、そういったものを御家庭の状況に応じた形で対応していただきたいということ。それから熊鈴っていうんですかね、音の鳴るものをつけて通っていただきたいというような指導を学校ではしてまいりました。一昨日の広丘西保育園付近での女性が襲われた件につきましては、消防と、農林のほうから情報をいただきまして、教育委員会としてもすぐに、これは全市対応という中で一斉メールを出させていただいております。個々学校ごとにですね、特に周辺4校、広丘小、それから吉田小、丘中、それから広陵中、それらにつきましては、それぞれ学校ごとの対応でメール等によって注意を喚起しております。広丘小については、職員が安全確認をしつつ、もう退校していた時間ではありますけども、外に出てる子供もおりますので、そういった子供の中の帰路の確認等、それから丘中につきましては、部活動で残っている子供がいたんですが、それについては御家族が迎えに来るようにというような形で対応しているという状況になっております。現状については、広丘の方の熊については、猟友会、それから警察、それから農林課のほうで追ってるということですが、まだその後どうなったという、捕獲なりということについては、現状至っておらないという状況でございます。なお、今朝なんですけど、宗賀洗馬、洗馬駅の近く、椎名医院の裏手の付近に以前熊が出まして、そこにおりを仕掛けておいたところ1匹熊がかかっていたということで、猟友会によって処分されたということは、報道のほうから私のほうに連絡が来ております。ただ、広丘方面のとは別個体だと思われまますので、今後もうしばらくは注意が必要なのかなという形です。

裏面見ていただきまして、今申し上げましたように主な注意喚起の内容は、このな形になっております。今後の対応でございますが、何せ熊ということで、台風の場合ですと通り過ぎてしまえば、それで一旦終わりという形になるんですが、ちょっとまだ熊が冬眠状態になる時期まではちょっと時間があるということの中で、当面の間ですけれども、登下校時の児童生徒の安全確保をまず最優先としたいということで、方策を次のとおり実施したいということになっております。関係機関等との連携をした保護者への適切な情報提供ということで、どこら辺で出てるとかですね、そういったような危険情報の提供。それから必要に応じては、学校のほうでプリントによる、こんなことを具体的にしてくださいというようなプリントの配布等があります。今回の広丘の件につきましては、広丘小のほうでは別紙プリントで各保護者に全戸配布をしたということもあります。なお、市としても、まだ当分の間ですね、農林と警察、猟友会による巡回等をしながら、わなを仕掛けるということもありますので。それから今回広丘の場合については、松本市境ということもありますので、松本市との連携をしつつ対応するというのを聞いております。

それから、登下校時の安全確保ということで、先ほどから再三申し上げてありますが、登下校時の送迎ですとか、あるいは同伴等についてお願いをしていくという形になります。洗馬小につま

しては、9月の末からですね、集団登校の形をとっております。それから広丘小についても、現状とってるという状況でございます。あと、昨日につきましては、広丘小では登校時間を指定しまして、子供たちが割と朝から、7時くらいからわらわらと通学して来るんですけども、8時前には出て来るなということで、ある程度通学時間をまとめることによって集団化を図るというようなことも聞いております。それから、本日、聞いたところでは、吉田小学校では廃品回収であったお金で全児童向けに鈴を買って学校で配るといふ、廃品回収もPTA会費になるんですかね、そちらのほうから使って配布をするというような形も聞いております。

あと3番目の学校活動の配慮ということですけども、朝部活とか、朝学習の一時停止ということを丘中ではやっているようでございます。そういったことの中で、相手が自然の動物ですのになかなか難しいところはありますけれども、注意喚起に徹してですね、新たな被害が出ないようにしたいというふうに考えております。以上でございます。

小澤委員長 ありがとうございます。御意見等ございますでしょうか。

石井委員 以前、鈴だかを市から対応したってことはなかったでしょうかね、四、五年前に。なかったかね。これは、学校で対応かね。

小林こども教育部次長（教育総務課長） ちょっとわからないですね。

小澤委員長 市全体は、ちょっとわからないです。

小島委員 鈴をもらったことはないですね。

小澤委員長 国道から西がほとんどですね。

渡辺職務代理者 東の方が、なんか山に近いような気がするけどね。

石井委員 奈良井川筋だね。奈良井川筋を移動して歩いていると。

渡辺職務代理者 ここを歩いて行くんですかね。

小澤委員長 吉田小みたいにPTAを先頭にして自衛策を講じる、ありがたいことだなと思います。安全確保のためにそれぞれやっていただければと思います。

小林こども教育部次長（教育総務課長） 一応ですね、割と目撃情報があるのは、西方のほうが多いんですけども、一応善知鳥峠あたりでも目撃証言はあります。ただ善知鳥峠のところの証言については、ほとんど学生いないもんですから、それは市の農林のほうでは対応しているんですが、学校のほうでは対応してなかったと。教育委員会的な対応はしていないということになってはおります。ですので、ほとんど全市的な規模と言え、全市。今、全くないのは片丘方面ぐらい、というふうに。

4 議 事

○議事第1号 市立学校職員に対する指導上の措置について〈非公開〉

小澤委員長 それでは、議事へ入りたいと思います。この議事に関しましては、非公開という形をとりたいわけでありまして、よろしいでしょうか。

〈非公開部分削除〉

5 その他

小澤委員長 このほか、事務局から何かありましたら、お願いします。

岩垂生涯学習部長 冒頭、委員長よりお言葉をいただいたわけですが、百瀬課長死亡に伴います人事につきまして報告させていただきます。来週10月28日の火曜日ですけども、人事に伴います内示がございます。したがって、現在のところわからないということですが、

11月1日付での辞令ということで、11月4日交付で出されますので、それ以降にまた報告させていただきます。よろしくお願いします。

6 閉会

小澤委員長 ありがとうございました。以上で10月の定例教育委員会を終わりたいと思います。

○ 午後2時35分に閉会する
以上